

## 福井県知事は関電の「新工程表」容認を撤回せよ！ 関電は老朽原発の稼働を停止し廃炉にせよ！

今回、福井県に出された関電の「工程表」は、前回の「工程表」が提出の数か月後に「六ヶ所再処理工場」が27回目の完成延期となり破綻したことの反省もなく、書き直したものである。今度も2026年には完成するという「希望」を組み込んだ計画。不足分はフランスへの MOX 燃料の使用済のテストのための搬送を誤魔化して記載するというデタラメさである。福井県はこんな「工程表」は拒否して老朽原発を停止すべきである。



関電原子力本部前



関電に申入れ



町内をデモ行進



200人のデモ隊列



美浜町役場前で

## 報告 3/31 関電は約束を守れ！美浜集会

### 福井県知事は「工程表」容認の判断

杉本福井県知事は24日に関電の森社長と面談し、「工程表」を容認する意向を表明。関電は「工程表に従って県外に確実に搬出する」、「定期的に進行状況を説明」、「立地町の地域振興に向け資金を拠出する」ことを約束した。知事は再処理工場の予想される「完成延期」の危険を「国の関与の強化」という文言で隠蔽し、「工程表」は実効性があるとした。

### 関電原子力本部前で抗議集会

関電の空約束の「工程表」を拒否し、若狭の老朽原発の運転停止を要求して、31日に美浜町で集会が開かれた。集会には福井現地を中心に関西、東京、名古屋等から200人が参加した。

開会の挨拶で集会実行委の木原さんは、「関電の工程表は全く無内容で県民を愚弄するものである」「老朽原発は何としても止めよう」「関電の乾式貯蔵の導入を許してはならない」と述べた。

集会代表団が、関電原子力本部に「申入書」を提出。

福井の石地さんは、「福井県民は30年前から使用済核燃料の県外搬出を要求してきた」「今回の工程表には中間貯蔵が消えており、関電は乾式貯蔵を狙っている。許してはならない」と発言。

引続き、奈良、福島からの避難者、東京、福井、兵庫、名古屋、福島の参加者から意見表明が行われた。

### 美浜町内を200人でデモ行進

集会終了後、美浜町の町内デモを行った。美浜を含め若狭地区では、一斉チラシ配布、アンケート対話が行われており、能登大地震以降には、原発の危険性への理解が深まり、特に老朽原発の運転再開には反対の声が多数となっているとの報告もあった。約1時間の元気な町内デモを展開した。

### 老朽原発の廃炉を実現しよう

関電は「乾式貯蔵」を導入し、原発敷地内に使用済燃料を積上げることで稼働を続けようとしている。廃炉を実現しよう！1

## 関西電力への集会参加者の申入書 (一部)

【1】関電は、使用済み核燃料を発生させる原発からの撤退を決断して下さい。再処理工場の稼働が見込めない今、2021年の約束通り超老朽原発・高浜 1、2 号機、美浜3号機の停止を実行して下さい。また、本年運転開始後40年超えとなり、トラブル多発の高浜3、4号機の稼働を断念し、これらの原発の即時廃炉を決定して下さい。

【2】原発を動かせば、行き場がなく、子々孫々にまで負の遺産となる使用済み核燃料が増加します。関電の有する全ての原発を停止し、既存の使用済み核燃料の処理、処分、保管に関して真剣かつ広範な議論を開始してください。

【3】一刻も早く原発と決別し、核燃料、化石燃料を使わない発電に転換してください。

## 原発審査期間を運転期間に「上乗せ」

経産省は3月24日に、老朽原発を60年を超えて、さらに伸ばす新ルールをまとめた。再稼働の為に原子力規制委での審査期間等を運転可能時間に「上乗せ」という。その間の経年劣化や放射線による劣化は無視するという安全無視の「基準」。

### 高浜1号機なら73年間に延長

これを適用すると1974年稼働開始の高浜1号機は2047年まで73年間に延長。原発の新增設には1兆円以上の建設費が必要で、経済的になり立たない。老朽原発を事故で破滅するまで使い続けようというこの計画は、「今がよければ」という全く無責任なものである。世界に60年を超える原発はない。



# 3/30「土地の日」連帯集会とデモ 2025

## イスラエルは殺人攻撃を中止し、恒久停戦に応じろ！

今年の「土地の日」連帯集会とデモ行進は、ガザ・パレスチナでの停戦がイスラエルによって破られ、多くのガザ市民が殺される中で開催された。「土地の日」は直接的には1976年のイスラエルによるパレスチナ人からの土地の取りあげが起源である。「土地の日」の行動は、パレスチナの人々が「帰還権」をもとに、必ずパレスチナの地を回復するという決意の表れである。ガザからパレスチナ人を追い出し国際観光都市にするトランプの構想などは決して実現できない。

新阿波座公園で開かれた集会には約100人が参加した。ヒデオビッチ上杉さんの力強い怒りの歌で開会した。

主催者を代表して役重さんから報告が行われた。イスラエルは停戦の継続を認めず、18日に一方的にガザ全土への空爆を再開し多くの市民を殺戮している。

それは、停戦の過程でハマスが市民の支持を得ていることが明らかとなったこと。ハマスを弱体化して停戦後の処理をイスラエルと欧米の主導で行う魂胆が不可能であることが明らかになったことが停戦の破壊の原因である。

イスラエルに対して、直ちに戦争を停止し、停戦の継続と第2段階への移行を要求して行かなければならない。

続いて、パレスチナ出身のムハンマド・

ハッジャージさんの連帯の挨拶が行われた。「『土地の日』は、自分たちの土地のために命を盾に闘った記念の日です。パレスチナの土地は我々の祖先の命であり、その血で育ててきました。5000年以上の歴史があり、人々と一体のものとして生きてきました。パレスチナの土地は我々を呼んでいます。帰還の日は近付いています」。

集会に参加されたグループ・個人からの発言があり集会が終了した。

ナンバまでの御堂筋デモが行われた。

「イスラエルはガザ大規模攻撃をやめろ」「ガザ・パレスチナから撤退しろ」「ガザ停戦協定を守れ」「アメリカはイスラエルから手を引け」のスローガンを掲げながら力強いデモ行進を行った。



役重さんの基調挨拶



ハッジャージさんの話



ナンバまでのデモ

# 東京地裁が3月25日に 旧統一教会に解散命令

## 東京地裁が高額献金被害を基に解散命令

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)に対する文科省の解散命令請求に対し、東京地裁は3月25日に、宗教法人法に基づき解散を命じた。判決が確定すると、裁判所が清算人を選任し、財産は整理され、被害者等への補償に使用される。教団側は「信教の自由の侵害だ。到底受け入れられない」として即時抗告するとしている。

旧統一教会による「宝石や壺などの高額での販売」、「巨額な献金」は1960年以降、社会問題となって来たが、「勝共連合」「自民党への協力と集票活動」によって、摘発されることなく、2022年安倍晋三元首相への銃殺事件を契機とした自民党と旧統一教会の癒着が明らかになるまで放置されてきた。その間に自民党の200人以上の議員が選挙協力を受け、一方では1500人以上の「信者」が200億円以上の被害を受け、多くの家庭が崩壊したのである。今回の「解散命令」には、共犯者であった自民党の存在が隠され、

### 東京地裁の解散命令決定の骨子

- 世界平和統一家庭連合(旧統一教会)を解散する
- 献金被害が少なくとも1500人超に約204億円生じ、類例ない膨大な被害が出た
- 宗教法人法が規定する解散の要件に民法の不法行為が含まれる
- コンプライアンスを徹底すると宣言した後も被害が続き、改善を期待するのは困難

### 高額献金「甚大な被害」

東京地裁決定 民法の不法行為で初

「信教の自由の侵害だ。到底受け入れられない」として即時抗告するとしている。

自民党の犯罪が解明されていない。岸信介から安倍晋三に続く安倍派だけでなく、岸田前首相、石破現首相も旧統一教会と友好関係を持っていた。そして今なお非公然な協力関係を維持する議員が多いと言われている。徹底的に究明すべきだ。

# 自衛隊の常設組織として「統合作戦司令部」が発足 安保関連3文書に明記された戦争体制の確立 自衛隊に対する文民統制の弱体化と旧軍の「大本営」復活 在日米軍の統合軍司令部の「支配下」となるのか？

自衛隊の最高指揮権は文官である首相が持つとされ、防衛省、自衛隊内でも防衛官僚が制服組（自衛官）を統制する体制を維持してきた。しかし安倍首相の安保体制強化の下で、2015年には部隊運用は制服組の「統合幕僚監部」に統合され、今回の再編は、統合幕僚長を政府と自衛隊の連絡調整役に限定し、統合作戦司令部を新設し、陸海空の部隊運用を行うこととした。その司令部が米軍の統合軍司令部とつながる計画である。

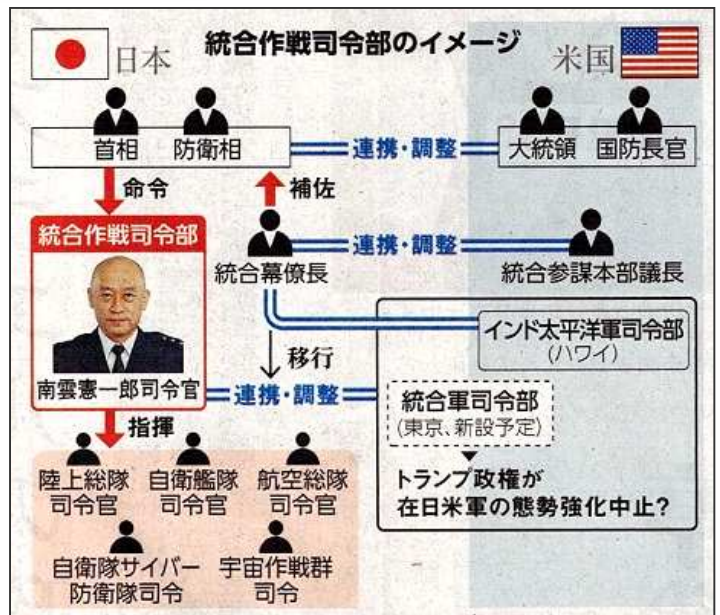
## 旧日本軍の「大本営」の再現

旧日本軍では、陸軍省、海軍省は内閣の機関であるが、参謀本部（陸軍）と軍令部（海軍）は天皇に直隷し、作戦計画・指揮をするとされ、内閣の統制下でなく、天皇の「統帥権」のもとにあるとされた。そして軍縮条約などに対し「統帥権干犯」と政府を攻撃し右翼による暗殺事件が起こるなど、軍部が権力を拡大させ、戦争への道を突き進んだ。

今回の統合作戦司令部は戦前の参謀本部+軍令部であり、戦争準備の体制作りである。

## 米軍の統合司令部の「支配下」に

そして、軍に対する統帥権の役割を果たしているのは米国であり、米軍である。2024年7月に米国は日本の統合作戦司令部の発足に合わせて、在日米軍を再編し「統合軍司令部」を新設する予定



であった。しかし、トランプ政権の登場によって、政府支出削減策の一環として世界的な米軍の再編が議論されており、在日米軍の強化も見直しが行われている。

## 自衛隊の元下統幕長が台湾政府顧問に

「台湾政府」は元自衛隊制服組トップの統合幕僚長であった岩崎茂氏を行政院（内閣）の政務顧問とした。自衛隊との半公然な協議の体制であり、中国への内政干渉、軍事的介入そのものである。

## 3/24 米軍艦が非核証明書を提出せずに神戸港に入港

神戸市議会は1975年3月に入港する外国艦艇に非核証明書を求める「非核神戸方式」を全会一致で決議。その結果50年間、米軍の艦艇の入港はなかった。今回は17日に米軍側から入港の申請、神戸市の照会に外務省は「米国の艦船が核兵器を搭載していないことに疑いを有していない」と回答、在日公館からも「日本に入港する米国艦船は核兵器を搭載していない」との回答があり、神戸市は入港を許可。



これに対し、「非核証明書を条件とする「非核神戸方式を守れ」と、多くの平和団体が米軍の神戸港への入港に反対し、摩耶埠頭や市役所前で抗議行動を行った。

## 3/29 日米国防相と石破首相が硫黄島での慰霊式典に出席

徳仁天皇は、「戦後80年」の今年を「慰霊の年」として4月に硫黄島訪問の予定である。その前座として石破首相は、3月29日の中谷防衛相とヘグセス米国防長官の日米合同慰霊祭に参加した。日米の軍事担当相が慰霊式にそろって参加は史上初であり、現職首相の出席は安倍晋三以来である。

硫黄島は日米戦争で最大の激戦地の一つであり、日本軍は補給の無い状態で徹底抗戦が指示され、餓死と自殺、戦病死を含め2万人以上が死亡した。

石破首相は慰霊祭で、硫黄島の戦場で降伏することが許されず、食料も薬も医療もなく餓死・病死、そして戦死した兵士に、国家として責任を認め謝罪し、慰霊することもなく、アジア太平洋・インド洋での日米軍事同盟の意義を強調するだけであった。

硫黄島は1968年に日本に返還されたが、太平洋地域の軍事拠点として、自衛隊基地と米軍の演習場となっている。2000人近い住民の帰還は許されていない。

**日本軍兵士のPTSDをしょうけい館で展示** (朝日 3/13)

「PTSD 日本兵家族会」が PTSD による兵士と家族の苦しみを調査し、政府に対策を求め、国会でも論議されるようになった。2月13日には厚労省との面談が実現し、PTSD の調査を実施することになった。厚労省は今年の7月から「しょうけい館」で企画展を行う。「PTSD 兵士家族会」の黒井代表は一步前進と評価し、より広範な実態調査を行うべきだと述べた。

**駐日大使予定のグラス氏日本の負担増を** (朝日 3/15)

米トランプ大統領に次期駐日大使として指名されたグラス氏は、駐日米軍の駐留経費をめくり日本側に負担増を求める考えを明らかにした。また「関税や対日貿易赤字の削減についても厳しい対話をする」と発言。トランプ大統領は、日米安保条約の「片務性」も問題にするなど日本への負担増を目指している。

**米コロンビア大でのガザ抗議を抑圧** (朝日 3/23)

コロンビア大は、イスラエルのガザへの攻撃に抗議する活動の拠点となってきた。米トランプ大統領は、「反ユダヤ主義」への対応が不十分だとして4億ドルの助成金を取り消した。その結果大学は警備体制や教育内容を見直すとした。すでに警察による逮捕も始まっており、トランプ政権による自由な言論の封鎖が進む。

**原発県民投票条例の議会提出** (新潟新報 3/29)

柏崎刈羽原発の再稼働をめくり、市民団体が、「稼働の是非を県民投票で決める」条例案の提出を28日に行った。14万3196人(法定数の約4倍)。4月16日に召集される臨時議会に知事が条例案を提出する。知事は従来から「県民の信を問う」と発言してきているので、この条例を成立させ県民投票をすべきだ。

**日本製鉄呉跡地に複合防衛拠点** (NHK 広島 3/31)

防衛省と日本製鉄、呉市と広島県の協議で、防衛省は防衛研究・生産民間企業のエリアや無人機の生産・整備、火薬庫などを設置する最終配置計画案を示した。火薬庫については大麗女島に新たに火薬庫と棧橋などを整備し、拠点内には数棟のみ建設。

**「アジアから問われる日本の戦争」展 2025  
5月4~5日 安倍野市民学習センター  
36団体の展示と、講演・映画**

「アジアから問われる日本の戦争展」も今年で7回目。2013年の“ピースおおさか”からの加害展示撤去に反対し、市民の意見を無視する維新府・市政に対し、市民の手で始められた戦争展も7回目に。

**「アジアから問われる日本の戦争」展 2025**  
5月4日(日) 5日(月) 10時~16時 安倍野市民学習センター 入場無料



5月4日(日) 10時~16時 安倍野市民学習センター 入場無料

5月5日(月) 10時~16時 安倍野市民学習センター 入場無料

**DANNY JIN ライブ**  
闘うrapper DANNY JIN を招いてライブとトークから開始。

**5日は高井弘之講演会**  
高井弘之さんによる MAIN 講演「継続する大日本帝国と新たな戦争態勢」を開催。

**36団体の展示を**  
今回の戦争展には36の団体が参加し8つの会場で展示します。ぜひご覧ください。

**4日は DANNY JIN ライブ**  
闘うrapper DANNY JIN を招いてライブとトークから開始。

**5日は高井弘之講演会**  
高井弘之さんによる MAIN 講演「継続する大日本帝国と新たな戦争態勢」を開催。

**36団体の展示を**  
今回の戦争展には36の団体が参加し8つの会場で展示します。ぜひご覧ください。

**報告 3/23 大阪万博・カジノ反対  
やめてんかカジノ・万博パレード**



なんばまでデモ行進

3月23日、大阪万博の開会前の抗議行動として、各地で展開されている大阪万博開催反対、カジノ建設反対の統一行動が開催された。うつぼ公園に約1000人が結集し、集会和御堂筋パレードを行った。

**報告 3/28 原発いらナイト in 宝塚 144回**



宝塚市で「反原発」のイベント

28日は10人の参加で、サクソフオンの演奏の下、100枚のチラシを配布。急に寒くなったので50分で切り上げて終了しました。寒かったです。

**案内 4/6-13 宝塚市・伊丹市で市長選挙**

4月6日から、宝塚と伊丹では市長選が開始。13日の投票日まで選挙活動が開始されます。市民のための市長が選出されるように頑張りましょう。

**案内 4/19 使用済核燃料再処理の  
止めよう再処理大作戦②**



「使用済核燃料と再処理」:田窪雅文  
「壮大なムダ使い核燃」:大島秀利  
「プルトニウム利用について」:中嶋哲演  
DVD 上映:「再処理と憲法9条」他  
日時:4月19日(土) 13時半より  
場所:大阪国労会館 大会議室

**案内 4/20 チェルノブイリ原発事故39周年の集い**



長年にわたり原爆被爆者と原発被爆者労働者の医療、韓国被爆者の「渡日治療」にかかわってきた村田三郎医師の話をお聞かせします。  
日時:4月20日(木) 13:30より  
場所:大阪市立総合生涯学習センター第1  
主催:チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西

**案内 4/25 京都・主基田違憲訴訟判決**



大嘗祭に関連する主基田抜穂の儀の違憲訴訟。大阪高裁は不当にも審理を1回だけの口頭弁論で結審として4月25日に判決としました。  
日時:4月25日(火) 14時より  
場所:大阪高裁202号法廷  
終了後弁護士会館で報告集会

**案内 5/3 かがやけ憲法! 平和といのちと人権を**



5・3 おおさか総がかり集会  
「被爆80年 核のタブーの原点に」  
長崎大核廃絶准教授 中村桂子  
日時:5月3日(土) 14時より  
場所:扇町公園、市民パレード  
主催:おおさか総がかり行動実行委